



1



2



3



4



5

福岡市とその周辺／歴史と文学の散歩みち

②9

## 大野城市

# 平野神社から牛頸ダム方面へ

## 観世広

「牛頸」という地域」  
かつての牛頸村の地域は、  
現大野城市のほとんど半分を  
占める。

だから多分、遺跡や伝承も  
かなりあっただろうと思える  
のだ。たとえば土器や瓦など

を大量に製造して、かの大宰  
府政庁方面へ搬出していったら  
しいことは、ほぼ判っている。  
しかし残念ながら、現在これ

らの遺跡は見ることができな  
い。隣の春日市では古代の登  
り窯跡を丸ごと保存したりし

ているのだが。



山林と田畑が多かった牛頸  
地区は今、いくつもの町名に  
分かれて住宅地になっている。

その間にいかほどの調査や保  
存活動が行われたのだろうか。  
他所者ながら、ちょっと気に  
なるのだ。

その点、市史とは別に地域  
独自に郷土史が編まれている  
ことは、特記に値しよう『牛  
頸郷土史』02年3月刊。編集  
にはもう一工夫ほしかったと  
思う。

### 「平野神社」

大宰府の守護を願って正歴  
年間(990~994年)につくられ  
たというから、来歴はズいぶ  
ん古いお神さんである(写真  
①・②)。いずこの神社でもそ  
うだが、ここでも見事な楠を  
見ることができる(写真③)。

本殿の右手にある3基の自  
然石は、疱瘡の神として信仰  
されていた(写真④)。昔は疱  
瘡は難病としておそれられて  
いた。しかしこの神に祈ってお  
れば、たとえかかったとしても  
軽くてすんだといわれている。  
そして境内には、ほかにもたぐ  
さんの神がまつてあった。

ただ可哀相なことに、神牛  
は角が1本欠けていた(写真  
⑤)。



7



6



8



絵馬堂に掲げられている額は、まだ割に絵がらのハッキリしたものが多いが、三國志に材を求めたもの(写真⑥)が数枚あったのは、どういふ因縁があるのだろうか。  
 そついでえば裏手の奥の院には、まだ新しい碑に和歌が彫ってあった(写真⑦)。  
 高き屋にのぼりて見れば  
 煙たつ 民のかまどは  
 にぎはいにけり



9

その気持ちは判らぬでもないが、ここになぜ仁徳天皇の作)が出てくるのか、必然性に乏しい。せつかくならば地域ゆかりの文人の歌などの方がよかったと思ふのだ。  
**「牛頸ダムといこいの森公園」**  
 平野神社の前の道路をズンズン南進すると、やがて牛頸ダムへ出る(写真⑧)。  
 これはロックフィル方式のダムと言って、堰堤をコンクリートではなく主に土石で固めてある(写真⑨)。近辺では甘木市の寺内ダムが有名。今後



10

はこの形式がもっと増えることだろう。  
 ダムサイドの右手(西側)は割に広い公園になっていて、いろんな遊具もしつらえてあった(写真⑩)。  
 3月の平日は閑散としていたが、家族づれや遠足の目的地にはいい所ようだ。  
**「ダムの上手を行く」**  
 もともとはダムの下手にあつたものが、工事に伴ってその上手(南方)に移転したのが法照寺(写真⑪)。真言宗である。86年のことだといつから



11

博多石焼

# 大阪屋

創業大正15年  
郷土料理  
Japanese Restaurant

福岡市博多区中洲5丁目3-16 ☎(291)6331  
営業時間 午前11時半~午後10時



13



12

建物はまだ新しい。  
その境内と近辺には、ミニチュアの西国88カ所地藏さんが据えられていて(写真⑫)、気軽に巡れるようになっていた。

ダム周囲を離れて更に上流(南)へ道を進むと、キャンプ場に着いた。

ここはロッジといいテント場といい、なかなか設備が整っている(写真⑬)。

鳥の声を聴きながら、利用客の少ない時期にはいい別荘になりそうである。念のため



14

に尋ねてみると、料金は最低5人を基本としているというから、1〜2人ではちょっと割高になるか。

「龍華霊園の周辺」

牛頸地区の西域には月の浦という団地が開けているが、そのやや奥まった所に龍華霊園がある。その入り口の左手



やや小高い場所に石碑が1つある(写真⑭)。高皇産霊尊と書いてタカミムスビノミコト



15

と読むらしい。古事記では造化三神の1つとして登場し、おそらくは天照大神(アマテラスオオミカミ)が形象される以前の皇室に由来するのではないかと、いわれている。この碑はかつてあった場所から700ほど移動したらしいが、以前は9月5日に「大行事」といって、赤ん坊から大人までの奉納相撲が行われていたとか。

その龍華霊園の中をやや左寄りの道を選んで進むと、突き当たりに滝があった(写真



16

⑮)。付近は天ヶ岳の霊場になっている(写真⑯)。

「あし」

県道31号線の大佐野信号から西へ(板付牛頸筑紫野線)直進すると平野神社。その南方の平野ハイツ入り口の信号を西へ。平野台団地の左(南)側に霊園への入り口がある。(郷土作家)



17